

平成23年10月25日

体指（スポーツ推進委員）を取り巻く課題について

宮崎市体育指導委員連絡協議会
会長 山本 幸徳

1. 体育指導委員（スポーツ推進委員）のあり方について

市の行事や研修などほとんど参加しない人が、長年委嘱されている

・体指協議会のレベルアップや方針の統一が出来ない

居住地の問題や地区別の人数が、平等化がなされていない

・体指2人の地区は、負担が大きい

体指の選出無しの地区、体育会未加入地区の問題

一般市民に対して体指のアピールがなされていない

（市民が体指を知らない）

体指のなり手がいない 本格的に公募を検討すべきでは？

体指の意見も考慮して委嘱のあり方を見直すことが出来ないでしょうか？

2. 地区対抗大会のあり方について

駅伝を除きチーム名は、基本的に自治会名とするべきでは？

地区予選の無い選抜チーム参加の意味合いは？ 予選無しを助長する

ほとんどの地区で予選が無くなったバレーボールについて 今後も継続？

（10年位前までは、予選必須であった）

上記問題点を「体指で検討し連合会で承認」と出来ないでしょうか？

3. 地区体育会について

体育会の無い地区や体指のいない地区などが増えてきている

大会や参加者が年々減少している

（例えば、市の補助金の半額を地区対抗参加地区に振り分けできないか？）

予算の無い所や減少している体育会が多くなっている

（まちづくりから運営費を補助金として固定化できないか？）

ここ数年の流れからすると体育会解散の地区が増えることが予想される

体育会、まちづくり、総合型クラブを一本化出来ないでしょうか？

4. 総合型スポーツクラブへの取り組みについて

（新たなスポーツ基本法では、総合型地域スポーツクラブ育成が重要）

市内で10ヶ所以上になりそうですが、今後の取組は？

現状のままでは、クラブの自立は難しいのでは？

体育会連合会や行政も推進すべきでは？

（医療費削減に効果が大「宮崎市の出費も医療費が数百億円で第一位」）

総合型地域スポーツクラブの担当係を設置して頂けないでしょうか？

または、地域スポーツ（生涯スポーツ）検討委員会などの設置？